

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0270301542		
法人名	医療法人 高人会		
事業所名	グループホーム かえで		
所在地 (電話番号)	〒031-0833 青森県八戸市大久保西ノ平25-294 (電話) 0178-32-3612		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年10月20日	評価確定日	平成21年12月21日

## 【情報提供票より】(平成 21年 9月 29日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 7月 11日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	6人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.9人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て 造り		
	1階建ての	階 ~	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	12,000 ~ 冬期21,000 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	400 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 1,000 円		

### (4) 利用者の概要( 9月 29日現在)

利用者人数	9 名	男性	5 名	女性	4 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 78 歳	最低	53 歳	最高	90 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人関口内科クリニック、関口歯科
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>八戸市郊外の緑豊かな自然の中にあり、同一敷地内に法人のクリニックがある。利用者は透析療法の方が多く、クリニックの医師・看護師とはいつでも相談や指示を仰げ、緊急時にも対応している。グループホームの主役は利用者であり、その人らしさを尊重し、思いや願いを大切に心温まるケアに努めている。市内の高校・中学校のボランティアを受け入れ、町内会の行事へも参加し地域交流がなされている。又、地域との災害協力体制も確立されている。</p>
---

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善項目なし。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員が評価の意義を理解し、ケア会議で話し合いが行われ、日々の生活に活かせるよう取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1回実施している。推進会議ではホームの行事・利用者サービス・評価等について話し合われている。会議内容はケア会議で報告と話し合いがなされ、利用者のサービス向上に活かしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>利用者の暮らしぶりや健康状態は、2ヶ月に1回の便りにより報告している。金銭管理は面会時や会計時に説明し、個々にあわせた報告をしている。窓口に苦情箱が設置され、意見・苦情についてはスタッフ会議で話し合い、運営推進会議にも提示し、意見を頂き運営に反映されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、町内会の行事(花見・敬老会等)にも参加され、地域のボランティアの受け入れもあり交流がなされている。又、年2回の避難訓練には、町内会の方々の協力も得られている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で話し合い、「グループホームの主役は利用者様である・その人らしさを尊重しケアをいたします・入居者の思い願いを大切に、心温まるグループホームを目指します」の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を事務所及びホールに提示して常に確認でき、申し送りやケア会議にて理念を振り返りながら、日々の生活に活かし取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会に加入し、町内会の行事(花見・敬老会等)にも参加され、地域のボランティアの受け入れもあり交流がなされている。地域の認知症普及活動等への参加はなされていない。		市や支援センターで行われている活動に参加する等、地域の認知症普及活動等に取り組むことを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全員が自己評価及び外部評価の意義を理解し、評価についてはケア会議で話し合い、日々の生活に活かせるよう取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回行われており、ホームの行事や利用者サービス等について話し合われている。会議内容はケア会議で報告と話し合いがなされ、利用者のサービス向上に活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>グループホーム協会主催の市を交えての懇談会へ出席している。又、疑問・質問は市担当者と電話やメールで相談しながら連携を図り、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は研修に参加され、スタッフ会議にて報告と勉強会を行い、全職員が理解を深めている。又、パンフレットも準備されている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全職員が内部・外部研修を通して高齢者虐待防止法に関する理解を深め、虐待が見過ごされないよう、日々のケアに注意を払っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に利用者及び家族に十分な説明を行い、不安や疑問点を尋ねている。契約は理解と納得の上で同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月に1回の便りにより、利用者の暮らしぶりや健康状態の報告をしている。金銭管理は領収書が添付されたノートにより、面会時や会計時に説明し個々にあわせた報告をしている。又、必要時には手紙や電話での報告もしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>窓口に苦情箱が設置されている。意見・苦情については、スタッフ会議で話し合い改善の取り組みをしている。又、運営推進会議にも提示し、意見等を頂き運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動時には、新人研修マニュアルに添って徹底した指導を行い、利用者へのダメージを最小限に抑える努力がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時研修が行われ、院内研修へ参加している。又、外部の研修や講習への参加により、毎月のケア会議で報告し勉強会を行っている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会主催の懇談会に参加し、勉強や情報交換を行い、近くのグループホームとの交流も図られ、サービスの向上に活かしている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者・家族と相談して、使い慣れた家具や生活用品の配置もお願いし、安心して生活出来るように工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と共にトランプ・かるた・ゲーム等で楽しんでいる。調理の手伝い・洗濯物たたみ等の役割を持って過ごされている。又、共同して生活する中で、苦しみ・不安・喜び等を知ること努め、共に支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のケアを通し様々な角度から把握している。気づきについては申し送り及び毎月の会議にて共有を図っている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>計画作成・見直し・評価については、毎月の会議の中で意見を出し合い、本人・家族の意向を大切にしながら、ケアに繋がるように検討されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の記録に変化を記し、通常の3ヶ月毎の見直しの他、毎月のケア会議にて話題とし、入居者の状態変化や本人・家族の要望に応じて計画の見直し・作成を行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>その時々々の個々の要望に添えるように、本人の状態を第1に関係者と相談・協力し、外出・外泊・通院等の支援を行っており、利用者・家族の安心にも繋がっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同一敷地内に法人のクリニックがあり、医師・看護師とはいつでも相談や指示を仰げる関係にある。他科への受診が必要な場合や希望に応じて受診が出来るようになっている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>医療と連携をとりながら、日常の健康管理や急変時に対応出来るように支援方法を検討しながら取り組んでいる。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員も意識して接している中でも、個性も生かしながら言葉使いや対応に配慮しており、振り返りながら取り組んでいる。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>透析療法の関係で1週間のスケジュールは決められている部分もあるが、その中でも一人ひとりの体調に配慮しながら、本人の気持ちや今までのペースを大切にした支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>透析療法を受けている人が殆どであり、昼・夜は管理されている部分もあり、病院からの配食となっているが、盛り付けや片付けは一緒に行っている。又、朝食や献立の希望があった際には主治医や管理栄養士と相談し、可能な限り食事を楽しめるように取り組んでいる。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>透析の関係で入浴日はおおむね決められているが、入浴方法や時間帯はその日の体調や希望に合わせて支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個々の役割を持って生活している。夏期には畑での作物作りや収穫を楽しんでいる他、日々の暮らしの中で様々な事に挑戦し可能性や喜び・自信へと繋がるような支援を行っている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>希望時は天候や体調に合わせて散歩や買い物に出かけている。又、歩行困難な方についても移動に配慮し、気分転換や生活への刺激となるように配慮した外出支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員間でも拘束によって利用者の受ける弊害について認識されており、用具の工夫や兆しを察知しながら事故防止に努め、拘束のないケアに努めている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は施錠していない。外出は自由であるが、利用者の傾向を把握し目配りを行い、安全に配慮したケアをしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署立会いのもと春・秋の年2回訓練を行っている。町内の方々の協力もあり、署からの講評の他、地域の人からも様々な意見を頂きながら取り組んでいる。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取・水分摂取量のチェックを行いながら情報の共有を図っている他、飲食の少ない方については、一日の中で量が確保できるよう随時補食や嗜好を取り入れ、工夫しながら支援している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルも作成されており、法人のクリニックから情報が届くので早い段階から対応する事が出来ている。又、利用者・職員はインフルエンザの予防接種をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自然な光が差し込み、落ち着いた雰囲気的空間である。状況に応じてはカーテンで光の調整が行われている。利用者はゆったりとした時間を過ごしている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>備え付けの家具もあるが、個々の生活用品も持ち込まれており、安心して過ごせるように工夫や配慮をしている。</p>		

 は、重点項目。